

授業科目 社会福祉援助技術演習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	社会
星 野 恵美子、寺 田 貴美代 松 本 京 介、近 藤 あゆみ 他		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 社会福祉の専門職として必要な援助技術を社会福祉の現場の事例を通して実践的に習得する。 1. 社会福祉援助技術現場実習Ⅱを振り返り、事後学習を行う。 2. 実習の模擬事例を通して、基礎的な対人援助技術の理解と実践的なスキルを獲得する。 3. 今後の社会福祉援助における学習課題を発見する。 4. グループでの演習や発表を通して、プレゼンテーションスキルの基礎を学ぶ					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 社会福祉援助技術現場実習Ⅱを振り返り、自らの課題について考察する 2. 実習事例を通して、コミュニケーションを考える 3. 実習事例を通して、多様な利用者への理解を深める 4. 実習事例を通して、課題を抱える利用者との信頼関係について考える 5. 生活場面面接について理解する 6. アセスメントの目的・内容等について実践的に学ぶ 7. 発表やプレゼンテーションスキルの基礎を学ぶ					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	社会福祉援助技術現場実習Ⅱを振り返り、自己課題を考察する。			1	グループでの演習・実技・講義
2	社会福祉援助技術現場実習Ⅱを振り返り、グループで考察する。			1、6	グループでの演習・実技・講義
3	実習事例を通して、多様な利用者への理解を深める(1)			1、6	グループでの演習・実技・講義
4	実習事例を通して、多様な利用者への理解を深める(2)			1、6	グループでの演習・実技・講義
5	実習事例を通して、多様な利用者への理解を深める(3)			1、6	グループでの演習・実技・講義
6	実習事例を通して、課題を抱える利用者との信頼関係について考える(1)			347	グループでの演習・実技・講義
7	実習事例を通して、課題を抱える利用者との信頼関係について考える(2)			347	グループでの演習・実技・講義
8	実習事例を通して、課題を抱える利用者との信頼関係について考える(3)			347	グループでの演習・実技・講義
9	生活場面面接について理解する(プロセス・リコードの活用)(1)			257	グループでの演習・実技・講義
10	生活場面面接について理解する(プロセス・リコードの活用)(2)			257	グループでの演習・実技・講義
11	生活場面面接について理解する(プロセス・リコードの活用)(3)			257	グループでの演習・実技・講義
12	アセスメントの目的・内容等について実践的に学ぶ(1)			367	グループでの演習・実技・講義
13	アセスメントの目的・内容等について実践的に学ぶ(2)			367	グループでの演習・実技・講義
14	アセスメントの目的・内容等について実践的に学ぶ(3)			367	グループでの演習・実技・講義
15	まとめ			2367	グループでの演習・実技・講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		実習生のための対人援助技術	社会福祉研究会編集	中央法規	2001・2,200円＋税
		参考書			
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況、発表内容、授業態度、レポートなどを総合的に評価する		担当教員の指導方法等に違いがあるため、担当教員の指導に基づいて学習すること			